

平成27年11月27日

地域みんなでまちづくり会議活動報告書

地域みんなでまちづくり会議の内容について次のとおり報告します。

地区名	第九小学校通学区域	報告者氏名	島田 拓
開催日時	平成27年11月26日（木） 午後7時から午後8時45分まで		
会場	中部地区会館 401大集会室		
参加者	市長の出席（有・無） 市民 11名、地域担当職員 2名 合計 13名（うち男性 10名 女性 3名）		
（議題等）			
開会			
議題1 各グループが決定した課題の集約			
議題2 その他			
① 次回検討事項について			
② 次回開催日について			
閉会			
（結論（決定した方針、解決すべき課題、保留事項等））			
【解決すべき課題】			
テーマを「防犯対策」とする。			
（会議の内容）			
開会 ・会長挨拶			
・各団体の役員交代等で新たに会員となった者（第九小学校PTA会長及び第一中学校PTA会長（新規会員））が自己紹介を行った。			
議題1 各グループが決定した課題の集約			
前回各グループで決定した課題について、新会員への周知も含めて各グループで再度振り返りを行った。また、追加意見等の有無についても確認した。			
・追加意見等について			
Aグループ			
→ 自治会の現状について、役員やスポレクへの選手出場などを敬遠する傾向が見受けられる。近所同士が集まってお茶を飲みながら話ができる、小さな集まりから始めることもいいことではないかと思う。この現状を打破するために誰かが進めなければ変わっていかないと思うが、行政側では計画があるのか。			
・協働推進課回答			
市では、転入者に対してくらしの便利帳等の書類を配布しているが、その中に自治会の加入申込書を入れている。また、本年度は、都営村山団地を除く全			

<p>世帯に加入チラシを配布した。更に、自治会活動を活性化するために自治会活性化補助金の交付を行ったり、フードグランプリや自治会パネル展などのイベントも行っている。</p>
<p>過去に自治会に関するアンケートを行ったが、その結果によると、自治会に入会しない理由として、①仕事や子育てで忙しい、②活動内容がわからない、③役員になると大変、などが掲げられていた。</p>
<p>震災経験者などの話を聞くと、地域に救われたという話をよく聞く。自治会の活性化には、自治会自身も社会状況等の変化に対応していく必要があることから、自治会連合会の中に自治会あり方研究会を立ち上げ、その中で議論しているところである。</p>
<p>→ 市では市内全域を自治会単位で大きく捉えて施策を講じているが、もう少し小さな単位で施策を行ってはどうかと思う。</p>
<p>→ イベントを行う際など、集まりたいときに集まれるような関係を構築するために、行政からお茶代の予算くらいはあると良いのではないか。</p>
<p>Bグループ</p>
<p>→ 交番の設置については、両グループとも最終的には必要との認識で一致している。交番の設置については、個人での要望は難しいと思うが、行政の職員も加わった組織があるのだから、交番設置に向けた取組を進めるべきだと思う。</p>
<p>→ 110番ハウスを増やしてほしいという子どもから発信された新聞記事が掲載されていた。110番ハウスの設置を周知していくべきだと思う。</p>
<p>→ 第9小学校通学区域における110番ハウスの設置状況は、個人宅が31軒ほど、企業が24社である。</p>
<p>→ 第1小学校通学区域については、個人宅で80件ほどある。</p>
<p>→ 110番ハウスは通学路以外にあっても良いのではないか。</p>
<p>・両グループの課題の一本化について</p>
<p>両グループの課題の内容及び今までの意見等を踏まえると、「防犯」が共通のキーワードとして考えられることから、「防犯対策」を課題とすることが決定された。</p>
<p>なお、この課題については、Aグループの課題である「コミュニティづくり」を包含したものであることを基本的な考え方とすることとした。</p>
<p>・課題解決に向けた具体的な意見等について</p>
<p>課題解決に向けた意見が出された。このことを踏まえ、まずは現場を確認する必要があるとの認識で一致した。次回、現場を確認する目的及びルートを検討することとした。</p>
<p>→ 第一小学校通学区域における110番ハウスについては、子どもが個人宅に入りにくいこと及び受け入れる側でも実際どのような行動をしたらよいかかわからないなどの意見があったことから、110番ハウスに登録していただいた家を全て訪問して、どのような人が住んでいるのかなどを確認した経過がある。</p>
<p>また、110番ハウスに登録している方の周知に関する個人情報の問題もある。</p>

→ 大型商業施設ができてから、榎地区の犯罪等件数が増加しているとの情報もあることから、第九小学校通学区域の現状を確認する必要があるのではないか。					
→ 大南地区で認知症サポーターの研修を行った際、20人くらいの人が集まったが、共通認識を持ってもらい地域のつながりも深まったと思う。このような研修も一つのツールとして活用できるのではないか。					
→ 第九小学校の通学区域の子どもが第七小学校に2割ほど流れている状況がある。この課題を解決し、「安心・安全」な地域として宣伝できればと思う。					
→ 他のまちづくり会議の状況はどうか。					
・協働推進課回答					
先行している第三小学校は「防災対策」、第八小学校及び第二小学校については「防犯対策」として課題を決定している。今年度中に第一小学校と第十小学校を立ち上げ、平成28年度に残りの雷塚小学校、小中一貫校村山学園及び大南学園を立ち上げる予定である。					
→ 第九小学校の子どもたちが作成した、通学路の危険箇所等を書き込んだ地図があるので、それを活用したらどうか。					
→ 高齢者の視点から見た危険箇所を調べた地図があるので、活用できると思う。					
→ 色々な団体が集まっているので、多様な意見の中から対象者やテーマを絞っていく作業が必要だと思う。					
議題2 その他					
① 次回検討事項について					
現場を確認する目的やルート等を検討する。					
② 次回の開催日について					
平成28年2月16日（火）午後7時～ 市役所4階中部地区会館とする。					
閉会					
（その他）					
委員から次の発言があった。					
次回以降、役員等の交代によりメンバーが変わる可能性が高い。引継がうまくいかないケースも多いため引継はしっかり行っていただきたい。					
（協働推進課から、役員が交代してもメンバーとして残ることは可能である旨説明あり。）					
（次回予定）					
日 時		平成28年2月16日（火） 午後7時から			
会 場		市役所4階 中部地区会館			
議 題 等		第九小学校通学区域の現場確認目的及びルートについて			
（地域担当職員）			（協働推進課）		
班員	副班長	班長	担当	主査	課長

